

## 事例検討（現地調査）の方法

### 1 趣旨

先導的な取組(事例)の事例検討(現地調査)を効率的かつ効果的に実施するため、対象事例の選定や検討方法を確認するとともに、訪問者の調整を行う。

### 2 方法

#### (1) 事例の選定

「ひょうご農林水産ビジョン2030」の実現に向け、第1回総会で審議した先導的な取組(事例)を基本に、事例検討を行う対象を選定する。

#### (2) 検討の方法

選定した事例の現地を訪問し、進め方の確認後、取組者からの説明を受け、質問による情報収集を行うとともに、訪問者での議論を通じて課題や対応策について検討を行う。

・事例検討のフロー 滞在時間/事例 80分(うち、意見交換 70分)



### 3 訪問先(候補)案

分野	テーマ	訪問地	備考
1 農業	⑤東播磨地域における草刈り作業をサポートする事業体の活用	加古川市	
2 畜産業	⑩バイオガスや有機質肥料など家畜ふん尿の有効利用の拡大	神戸市	
3 林業	※「ひょうごの木製品マイスター制度」を活用した兵庫県産木材の利用促進	佐用町	
4 水産業	⑪海底耕うんやナマコ等の種苗生産・放流による生物生息環境の改善	明石市	

※参考資料1 農林水産政策白書「ひょうごみどり白書2021」トピックス 特集⑫